

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 号 機械振興会館内
TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒566-8585 大阪府摂津市西一津屋 1-1 ダイキン工業 (株) 淀川製作所
TEL. 06 (6349) 0241 FAX. 06 (6349) 9865 油機事業部内

第 77 回理事会開催

第 77 回理事会が、4 月 15 日 (金) の 15 : 30 ~ 16:50 までの間、「ザ・プリンスさくらタワー」(高輪) 2 階会議室で開催されました。初めに事務局から理事の出席状況について理事総数 29 名のうち、出席理事 19 名及び監事 2 名の出席があり、定款の定めるところにより本理事会が有効に成立していること、議長は会長が行うことを説明し議事が進行しました。はじめに議長は議事録署名人として当会監事の澤田監事及び古川監事の両名を指名し、その後審議に入り、提案された第 1 号議案から第 4 号議案までが承認され、第 5 号議案以下は了承されました。



第 77 回理事会

第 77 回理事会提出議案

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

第 77 回理事会の開催・・・・・・・・・・	1	広報・PR 事業・・・・・・・・・・	7
平成 27 年度の経理・事業監査実施・・	4	中小企業関連事業・・・・・・・・・・	7
委員会開催・活動状況		振興対策事業・・・・・・・・・・	8
標準化事業／ISO 事業・・・・・・・・・・	5	会員ニュース・・・・・・・・・・	8
標準化事業／規格事業・・・・・・・・・・	6	工業会ニュース・・・・・・・・・・	9
技術調査事業・・・・・・・・・・	6	統計資料・・・・・・・・・・	13

(一社) 日本フルードパワー工業会

URL <http://www.jfpa.biz/>

1. 平成 27 年度事業報告及び収支決算（案）について（含む付属明細書）
2. 理事・監事の改選について
3. 規程の制定について
4. 会員の入会について
5. 平成 28 年度予算書見直し（案）について
6. 平成 28 年・年度需要見通しについて
7. その他

事務局は資料第 1 号により「平成 27 年度事業報告書」（案）の概要を以下の通り説明した。

1.) 需要対策事業

以下の事業を実施しその成果を会員企業はもとより当会の HP やシンクタンク・金融機関等に広く提供し産業界の高度化等に貢献した。

- ①総需要委員会のもとで平成 28・31 年・年度の油空圧機器需要見通しを作成し、会員企業や関係者に配布した。
- ②油空圧機器の受注・生産・需要部門別出荷動向等に関する調査を実施し、月報や機関誌・事業報告書等に掲載するとともに関係者に配布した。更に、工業会 HP 会員サイトに四半期統計資料等を掲載した。
- ③需要業界等関連団体の情報や統計資料を迅速に収集し関係者に提供した。
- ④その他需要対策に必要な事業を実施した。

2.) 国際交流事業

以下の事業を実施しその成果を会員企業はもとより当会の HP やシンクタンク・金融機関等に広く提供し産業界の高度化等に貢献した。

- ①平成 27 年 4 月に開催されたハノーバーメッセと欧州日系企業視察のため、また、10 月には PTC-ASIA 展と中国日系企業視察のためそれぞれ視察団を派遣し、帰国後会員向けに報告会を実施した。
- ②平成 27 年 4 月のハノーバーで開催された国際油空圧サミット及び ISC 国際統計委員会に参加した。
- ③平成 27 年 12 月にインドで開催された MDA-INDIA に会員企業 4 社が共同でカタログ展示を行った。
- ④経済産業省の協力を得て、「競争法（独禁法）コンプライアンス体制整備に向けた取組について」と題した講演会を 6 月に、また、「最近の米国中西部の製造業動向」及び「最近のインド政治・経済事情」と題した講演会を 8 月に行った。
- ⑤TPP の大筋合意に伴い、中小企業委員会との共催により、平成 28 年 2 月に経済産業省の協力による「環太平洋パートナーシップ（TPP）協定の概要について」と題した講演会

を開催した。

- ⑥会員企業の海外進出状況調査を行うとともに安全保障貿易管理等についての情報や資料の収集を行い迅速に提供した。これらは、当会 HP にも掲載して広く情報を提供した。

- ⑦韓国による日本製空気圧伝送用バルブに対するアンチ・ダンピング課税に対して、12 月に経済産業省に WTO 紛争解決手続実施の要望書を提出した。日本国は、韓国に対し平成 28 年 3 月 15 日に WTO 協定に基づく協議要請を行った。

- ⑧その他海外からの問い合わせ等国際交流に必要な事業を実施した。

3.) 標準化事業

ISO や JIS あるいは団体規格の新たな作成や改廃止を行うことにより、関連産業界のグローバル調達への対応や設計の簡素化・各産業界の合理化・高度化等に貢献した。

イ) ISO 対策事業（JKA 補助対象事業）

- ①平成 27 年 5 月に沖縄で ISO/TC131 の国際会議を開催した。
- ②ISO 国際会議へ参加するとともに ISO 規格回答原案作成事業を実施した。
- ③幹事国業務：ISO/TC131/SC7（密封装置：翻訳、通訳業務等）
- ④わが国提案の ISO 規格化への推進（1 件の ISO が発行された）
- ⑤同上事業を実施するため、JKA から補助金を受けた。

ロ) 規格事業

油圧・空気圧機器に関する規格の制定や改廃について検討・審議した。

- ①平成 27 年 4 月審議開始分の JIS 1 件について検討・審議し、改正案を提出した。
- ②平成 27 年 8 月審議開始分の JIS 1 件について検討・審議し、改正案を提出した。
- ③平成 27 年 12 月審議開始分の JIS 1 件について検討・審議を開始した。
- ④平成 27 年度は、2 件の JIS が発行された。
- ⑤平成 27 年度は、1 件の団体規格を制定した

4.) 技術調査事業

油圧部会及び空気圧部会並びに水圧部会で構成され、部会毎に事業を実施した。油圧部会及び空気圧部会においては、技術の高度化に資するため、ユーザ業界をも併せての情報収集や若手技術者を育成するため産学連携

体制での諸活動を行った。

1) 部会及び空気圧部会

- ①フルードパワー産業活性化のための小冊子「フルードパワーの世界」をベースに動画を挿入したデジタルブックの作成に取り組んだ。(60周年記念事業)
- ②油圧及び空気圧機器並びに油圧システム・空気圧システム等に関する業界共通の技術的課題提供につながる技術講演会を2回開催した。
- ③産学連携事業推進の一環として、「フルードパワーの世界～追補版～」を基に石川県の航空大学校で出張講義を実施した。
- ④油圧機器業界及び空気圧機器業界の若手技術者懇談会を、日産自動車追浜工場等の視察活動を含め合計4回開催した。
- ⑤空圧機器業界の知的財産に関する事業を推進するため特許分科会を開催した。
- ⑥RohsやReach規制等グリーン調達に関する情報収集を行った。特段の新規情報はなかった。
- ⑦中央職業能力開発協会の要請による中央技能検定委員の工業会推薦を行った。
- ⑧その他油空圧に関する技術問題等に対応した。

2) 水圧部会

- ①フルードパワー産業活性化のための小冊子「フルードパワーの世界」をベースに動画を挿入したデジタルブックの作成に取り組んだ。(60周年記念事業)
- ②フルードパワー産業活性化のための小冊子「フルードパワーの世界」を全国の工業高校や工業高等専門学校に継続配布した。
- ③経済産業省の国際標準化事業の一環として「省エネ型水圧システムに関する「国際標準化事業」(その他事業)の実施に当たって、標準化作業の協力を行った。
- ④ADS市場拡大のための方策を検討するとともに、ADS機器のカタログ収集事業を計画立案した。
- ⑤その他水圧に関する技術問題等に対応した。

5.) 広報・PR事業

工業会の活動状況等の情報を迅速に会員企業やHP・マスコミ・シンクタンク・金融機関等に広く提供することにより関連産業の高度化等に貢献した。

- ①工業会の毎月の活動状況等を取り纏めた「月報フルードパワー」を関係者に電子配信するとともにHPにも掲載し広く広報・PR

に努めた。

- ②機関誌「ルードパワー」(季刊)を継続発行、フルードパワー産業に関する各種最新情報及び話題、関連業界の動向、工業会活動報告等を広く情報提供した。特に新規会員ページの創設等新しい試みを行った。
- ③創立60周年記念行事の開催に向け、60周年記念事業実行委員会を設置し、諸作業を進めた。(60周年記念事業)
- ④創立60周年記念特集号の企画と制作を進めた。(60周年記念事業)
- ⑤ホームページの記事を継続して更新した。
- ⑥その他広報・PR活動に関する事業を推進した。(その他事業)

6.) 中小企業関連事業

中小企業を取り巻く経済環境が激変するなか、以下の事業を実施し中小企業業界の発展を図った。

- ①需要業界動向等や中小企業施策等の動向についてMETI等と連携して迅速に情報を収集し中小企業委員会のメンバーに提供するとともに中小企業委員会を年4回開催した。委員会では、会長講演、国際委員会と合同での「環太平洋パートナーシップ(TPP)協定の概要について」講演会を開催し、更に、「国内外での販路開拓の実現に向けて～中小機構支援の効果的活用～」と題する講演会を会議に先立ち開催した。また、中小企業会員の多い関西で1回開催することとし、川崎重工業㈱の協力を得て同社西神戸工場会議室で会議を行い、終了後工場見学を実施した。
- ②平成27年3月に、中小企業委員長、副委員長主催によるベトナム視察団を結成し、ベトナム情勢の現地調査を行った。
- ③「次世代の経営を考える会」では、平成27年2月に「上島熱処理工業所」と「JAL整備場」の視察及び意見交換会を開催した。
- ④中小企業委員会WGメンバーによる国内研修視察団を編成し、10月に四国・松山にある(株)井関松山製造所の視察と意見交換会を開催した。
- ⑤中小企業を支える福利厚生事業の「共済制度」を拡充するため、参加企業の拡大を図った。
- ⑥その他中小企業の振興に係る事業を実施した。

7.) 振興・PL・その他事業

激変する経済環境に的確に対応するため、需要業界の動向やPL問題等に迅速に対応す

るとともに部会・支部会活動等を通じ業界の振興・発展を図った。

1) 振興対策

- ①産機・建機合同部会、シリンダ部会及び空気圧本部会は年4回開催し、秩序ある業界体制の確立を図った。
- ②地域経済の環境変化に対応するため、各地区部会や支部会も適宜開催するとともに、本部委員や事務局からも出席して意見交換を行った。
- ③国内外の需要動向等に関し情報収集を行い、関係部会に迅速に提供した。
- ④その他業界の振興に係る事業を実施した。

2) PL 対策事業

海外 PL 及び国内 CGL (国内 PL、作業、業務遂行・施設のリスク：Comprehensive General Liability) からなる団体総合保険制度の健全な運営を諮り、業界の振興・発展を図った。

- ①PL 保険制度の基盤を強化するため、未加入会員会社へ訪問し、説明と勧誘をワールドインシュアランス社等と連携して行った。
- ②国内 PL 情報や海外 PL 情報を収集し会員企業に迅速に提供した。
- ③7月に「今後、日本企業のとるべきリスクマネジメントとは」及び「製造業 E&O 保険 (Manufacturer's Errors & Omissions) について」をテーマにした講演会を、また「製品事故発生時の緊急時対応」をテーマにした講演会を11月に実施した。
- ④製造業者 E&O (経済損失カバー) について、引き続き検討課題とした。
- ⑤その他の PL 関連情報の収集と提供等 PL 対策に係る事業を推進した。

3) その他事業

- ①経済産業省の国際標準化事業の一環として「省エネ型水圧システムに関する国際標準化事業」を野村総研から受託した。この事業を実施するため、5大学の先生方の協力を得て水圧部会を中心に、「ADS 国際標準化推進委員会 (委員長：山口惇横浜国立大学名誉教授) を設置し、標準化原案作成事業を実施した。
- ②生産性向上設備投資促進税制の証明書発行業務団体として登録されたことから証明書の発行業務を行った。
- ③平成 27 年度補正予算地域工場・中小企業等の省エネルギー設備導入補助金の証明書発行業務登録団体として登録されたことから証明書発行業務を行った。

④官公庁や関連団体等からの各種調査等の実施依頼と取りまとめ作業を行った。

- ⑤年始会や総会及び西日本支部総会並びに懇親ゴルフ会等を開催した。産学連携事業の一環として、大学、高専等の先生方を年始会、総会等の懇談会に招待した。
- ⑥西日本支部の活動を支援した。
- ⑦その他本会の目的を達成するために必要な事業を実施した。

次に「平成 27 年度の収支決算書」(案) の概要を以下の通り説明した。

平成 27 年度の総収入額は、129 百万円弱で、これに対し支出は各項目とも節約に努めた結果、事業費支出で 79 百万円弱、管理費支出で 34 百万円強となり、事業活動収支差額は、16 百万円弱の黒字となった。一方、投資活動収支差額で 4 百万円弱の赤字が出たが、当期収支差額は 12 百万円弱の黒字となり、さらに前期繰越収支差額が 36 百万円弱であったため、全体では次期繰越収支差額が 36 百万円強まで積み増せた。なお、この決算内容については去る 4 月 7 日 (木) に開催した監事による事業監査で詳細に説明して、承認を得た旨を併せて説明した。次に議長は、監事に対し監査報告を求め、古川監事から監査報告があり、議長は本件を議場に諮り、1~2 の質疑応答の後、異議なく承認された。本件は 5 月 19 日開催の通常総会に上程される。

次に議長は第 2 号議案の説明を求め、事務局から資料第 2 号で今年度は役員改選期で基本的に重任したい旨の説明をした。議長は本件を議場に諮り、異議なく承認された。本件は 5 月 19 日開催の通常総会に上程される。

次に議長は第 3 号議案の説明を求め、事務局から資料第 3 号により「創立 60 周年表彰規程」(案) を説明した。議長は本件を議場に諮り、異議なく承認された。次に議長は、第 4 号議案について説明を求め、事務局は資料第 4 号により正会員の入会案件として「オイルギアジャパン (株)」、また、賛助会員として「(株) 三興製作所」と「ワブコジャパン (株) の 3 件を説明した。議長は正会員の入会は、理事会の議決が必要であるため、議場に諮り異議なく承認された。次に議長は、第 5 号議案の説明を求めた。事務局は資料第 5 号により「平成 28 年度事業計画及び収支予算」については 1 月の理事会で承認を得ているが、今般の決算の確定により一部収入が増加する旨説明した。議長は本件を議場に諮り、異議なく承認された。本件は 5 月 19 日開催

の通常総会で報告される。

第 6 号議案以下については、報告事項であるため、事務局から一括説明し、16:50 に理事会は終了した。その後、産学連携事業として、(一社)日本フルードパワーシステム学会の理事の先生方等 11 名を交えた懇親会を開催し、和気あいあいのうちに散会しました。

平成 27 年度の事業・経理監査の実施

日 時 4 月 7 日 (木) 10:00 ~ 11:50

場 所 当会会議室

出席者 澤田監事・古川監事

事務局 藤原、鎌原、

議 事

平成 27 年度事業及び収支決算に関する監査が 4 月 7 日 (木) の午前中に当会会議室で行われた。当日は、澤田タイヨーインターナショナル会長及び古川税理士の両監事に対し事務局から「平成 27 年度の事業報告書及び収支決算書」(案)を詳細に説明した。その後、両監事はパソコンを含む諸書類及び諸帳簿並びに残高証明書等を詳細にチェックし、正確・適正に処理されている旨の講評がありました。

委員会開催・活動状況報告
(詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~  
標準化事業/ISO 対策事業  
~~~~~

空気圧調質機器分科会

日 時 4 月 27 日 (水) 13:30 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 1-5 会議室

出席者 小田主査以下 5 名

事務局 千葉

議 事

前回議事録確認後、サイレンサ ISO 規格のフランス案に対抗するため、サイレンサの騒音試験結果のまとめについて検討した。

JIS B 8372-1 の改正案について審議した。

次回開催: 6 月初旬

投票に付されている ISO 規格案

(TC131)

FDIS 16656 Hydraulic fluid power -- Single rod, short-stroke cylinders with bores from 32 mm to 100 mm for use at 10 MPa (100 bar) -- Mounting dimensions

FDIS 12829 Hydraulic spin-on filters with finite lives -- Method for verifying the rated fatigue life and the rated static burst pressure of the pressure-containing envelope

~~~~~

標準化事業/規格事業

~~~~~

流量測定分科会

日 時 4 月 7 日 (木) 13:30 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 6-61 会議室

出席者 妹尾主査以下 9 名

事務局 千葉

議 事

前回議事録確認後、妹尾主査より、平成 27 年度活動報告及び平成 28 年度活動計画 (案) について説明があり承認された。JIS B 8390-1 は 4 月 20 日に発行予定。

続いて、今年度 C 区分にて制定を予定している ISO 6358-2 流量特性試験方法の代替試験方法の JIS 原案の継続審議に入った。

次回開催: 5 月 31 日 (火) 東京工業大学 香川研

空気圧継手・チューブ分科会

日 時 4 月 12 日 (火) 13:30 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 工業会 会議室

出席者 嵯峨主査以下 5 名

事務局 千葉

議 事

空気圧用ポートねじの規格 ISO 16030 の JIS 原案について、日本規格協会規格調整分科会委員からの指摘事項に対する回答について検討した。

次回開催: 5 月 12 日 (木) 機振会館 B3-8 会議室

騒音測定分科会

日 時 4 月 13 日 (火) 13:30 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 6-61 会議室

出席者 小嶋主査以下 9 名

事務局 千葉

議 事

主査より、経済産業省におけるヒアリングで ISO 10767-1 を基にした JIS 原案作成は正式に認められたことの説明があった。

平成 28 年 4 月スタートとして登録した JIS B 8349-1 (油圧システム及び機器から発生する圧力脈動レベルの測定方法—第 1 部: ポンプの吐出し流量脈動及び内部インピーダンスの測定方法) の原案について審議・検討した。

次回開催: 6 月 10 日 (金) 機興会館 B3-3 会議室

制御技術分科会

日 時 4月20日(水) 13:30～16:30

場 所 機械振興会館1-5会議室

出席者 田中主査以下4名

事務局 千葉

議 事

前回議事録確認後、平成27年度活動報告及び平成28年度活動計画(案)について説明があり承認された。

次に、前年度からの引き継ぎテーマである JFPS 2010 空気圧-圧カススイッチ用語の見直し案について規格様式に変更したものを、前回の続きから検討・審議し、終了した。解説の検討に入ったが、適用範囲の記述についてまとまらなかったため次回検討することにした。

次回開催：9月7日(水)機振会館6-60会議室

油圧バルブ分科会

日 時 12月8日(火) 13:30～17:00

場 所 機械振興会館5S-4会議室

出席者 浦井主査以下11名

事務局 千葉

議 事

前回議事録確認後、投票に掛かっている FDIS 5781, FDIS 7368 及び定期見直し ISO 7789:2007, ISO 10770-3:2007 について審議し、FDIS 2件はコメント無し賛成、定期見直しについては ISO10770-3 について JIS 化の時に挙げられた事項をコメントとして投票することにした。

続いて、JIS 関連として、JIS B 8659-2 の進捗情報の報告を行い、ISO 6263 の改正に伴う JIS B 8357 の対応について検討し JIS の改正は行わないこととした。これらを踏まえ、平成27年度活動報告及び28年度活動計画を検討した。

最後に、平成28年度区分Aで応募した JIS B 8387 の改正原案について審議検討した。

次回開催：9月15日(木)機振会館6-64会議室

空気圧バルブ分科会

日 時 4月28日(木) 13:30～16:30

場 所 機械振興会館1-5会議室

出席者 夏目主査以下6名

事務局 千葉

議 事

今回より CKD の夏目委員が主査を務める。まず、投票に掛かっている定期見直し ISO15407-1:2000 について検討し、コメントなし confirm で投票することにした。

続いて、ISO 関連として最低作動圧力の測定方法の進捗状況について丸山委員から説明があっ

た。最後に、JIS B 8376 空気圧用速度制御弁の見直し作業に入った。1982年版の解説から基準流量の数値の設定について議論を行った。検討事項が多くあるので、平成28年度B区分での応募申請は取り下げて、検討事項がクリアーになってから再度応募申請することにした。

次回開催：6月23日(木)機振会館B3-7会議室

~~~~~

#### 技術調査事業

~~~~~

ADS 国際標準化推進委員会 WG

開催日 4月15日(金)

場 所 機械振興会館B3-8会議室

出席者 山口委員長以下名

事務局 藤原、大橋

議 事

山口委員長の挨拶の後、宮川幹事から平成28年度の標準化に向けた取り組みの基本方針の説明があり、日程計画案、進捗記録の記載項目案などが提案された。引き続き、WG 担当大学の現状報告、課題事項の披露とともに、WG の目的見直し案を含めて、WG の進め方についての自由討論を行った。この結果、WG 取り組みの現状と課題事項などを明らかにするとともに、実験担当者のスキルアップと相互交流を図るためのカンファレンスを第1回本委員会翌月頃に実施することとなった。

次回第1回本委員会：5月24日(火)機振会館

技術委員会空気圧部会第522回特許分科会

日 時 4月22日(金) 13:00～17:00

場 所 機械振興会館6-62会議室

出席者 栗盛幹事以下6名

事務局 吉田

議 事

前回議事録確認後、継続審議中の案件について審議した。1件については引き続きウォッチングしていくこととした。1件については見解書をもって調査を終了することとした。1件については特許権者の動向を見守ることとした。5件については引き続き調査することとした。

平成27年度収支決算明細書、28年度予算(案)、平成28年度開催日程が承認された。

次回開催：5月27日(金)機振会館6S-2会議室

~~~~~

#### 広報・PR 事業

~~~~~


第4回60周年記念事業実行委員会

同上 記念表彰等選考委員会

日時 4月20日(火) 10:00～11:30

場所 機械振興会館 311号会議室

出席者 齋藤委員長以下4名

事務局 藤原、鎌原、大橋

議事

齋藤委員長の司会のもと、会議次第に基づき報告・審議を行った。

実行委員会に関しては、藤原専務から、総会に引き続いて行われる記念式典及び祝賀懇親会の開催内容・次第案を説明し、併せて機関誌特集号、デジタルブックの進捗状況を報告した。機関誌は入荷済みであり5月連休前には発送の予定。50周年特集号と基本的に目次構成は同じであるが、誌上座談会記事が追加されている。デジタルブックは現状で連休前に納品見込である。画像の一部を投影して確認した。

引き続き、創立60周年記念表彰等選考委員会として、理事会にて決定された表彰規程の説明、及び功労者大臣表彰、会長感謝状贈呈の候補者選定基準に基づく事務局候補者案について審議し、了承された。また、表彰者の最終決定に至る手順や記念品等についても検討を行った。

第90回編集委員会

日時 4月27日(水) 15:00～17:00

場所 機振会館6-61

出席者 齋藤委員長以下12名

事務局 藤原、大橋

議事

齋藤委員長挨拶及び前WG主査の前畑委員から宮委員への交代に伴う挨拶があり、その後、議事に入った。

① 創立60周年記念特集号発刊報告

ほぼ計画通り進捗し、4/26から発送を開始した。印刷部数1125部、総頁246であり昨年末に開かれた誌上座談会報告が注目される(文末図参照)。

② VOL.30～VOL.31年間発行状況及び企画状況

VOL.30, NO.1(新年号)は特集号の影響により記事が集中し100頁超となったが予定通り発行済。VOL.30, NO.3(夏号)はNO.1同様に記事数が多い。NO.4(秋号)も記事数はほぼ充足しているが「留学者の声」は至急手当てが必要である。

VOL.31(平成29年)の年間企画については「技術講座」「ミニ知識」などの連載記事、「留学者の声」の候補が不足している。

③ 機関誌のあり方について

第112回WGにて、工業会機関誌のあり方について意見交換した結果を報告し、今後の取り組み

案について審議した。ねらいは会員サービス向上であり、主として目次構成や見やすさに注目している。継続して委員からの意見を募るとともにWGにて実施内容を検討していくこととなった。

④ その他

高崎邦彦委員(TAIYO)の退職に伴う退任報告と、今後の委員増強について検討した。



創立60周年記念特集号 Vol.30, No.2
次回委員会：10月14-15日開催として計画する。
WGは6月開催として日程調整する。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～
中小企業関連事業／その他事業
～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

第1回中小企業委員会

日時 4月6日(水) 15:00～17:00

場所 機械振興会館5S-1会議室

出席者 十万委員長以下17名

事務局 藤原、堀江

議事

1. 講演

十万委員長の挨拶の後、経済産業省製造産業局産業機械課・服部嘉博課長補佐から「中小企業向け平成28年度税制改正内容、平成27年度補正予算について」の演題で講演会を開催した。

講演の概要は以下の通り。「中小企業向け平成27年度補正予算として、ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金について、平成28年度税制改正内容として、省エネ補助金、海外展開戦略支援、法人税率引下げ、設備等投資促進税制など」について詳細な説明がありました。

注) 講演内容の詳細は JFPA ホームページ・会員サイトにてご覧いただけます (<http://www.jfpa.biz/>よりログイン)。

2. 出席各社の現況報告

各社の景況感等について報告があった。

3. 事務局から

事務局から、鋳工業生産指数、工作機械受注状況、日銀短観等について説明するとともに平成 28 年・年度油圧・空気圧需要見通しについて概要を報告した。

次回開催：7 月 6 日（水）ダイキン工業（株）
淀川製作所

~~~~~  
振興対策事業  
~~~~~

IFPEX2017 実行委員会準備会

日時 4 月 26 日（火）15：00～17：15
場所 フジサンケイビル 8 階会議室
出席者 矢島委員長以下 17 名
事務局 藤原、唯根
荒井、上片平

（フジサンケイビジネスアイ）

平成 29 年 9 月に開催を予定している「第 25 回 IFPEX2017」の運営等について審議する「同実行委員会準備会」が開催された。事務局より会場日程の報告の後、前回のアンケート等を参考にし、開催に向けての検討事項等意見交換を行った。第 1 回実行委員会にて具体的な希望を項目毎に各社挙げる事となった。

次回開催：6 月 10 日（木）フジサンケイビル
8 階会議室

~~~~~  
工業会ニュース  
~~~~~

☆平成 28 年 4 月より下記の会社が正会員として入会されました。よろしくお願ひいたします。

（正会員）

オイルギアジャパン株式会社
代表取締役社長 西村 政雄 殿
本社

〒370-0883

群馬県高崎市剣崎町 155

TEL：027-343-1515 FAX：027-343-1518

URL：<http://www.oilgear.co.jp/>

創立 2013 年 2 月

資本金 1000 万円

事業内容・特色

＊プレスメーカーの株式会社小島鉄工所が米国オイルギア社と正式代理店契約を結び（株）小島鉄工所の 100%子会社として発足。

＊油圧ポンプ、油圧バルブそれに係る制御機器油圧ユニットをはじめとしたオイルギア製品の製造、修理、販売。

☆5 月よりクールビズを導入

当工業会では、本年も 5 月 2 日（月）～9 月 30 日（金）までの間「クール・ビズ」を導入しますのでお知らせします。期間中の工業会開催の会議への出席については、軽装（ノーネクタイ・ノー上着等）でご出席下さい。なお、経済産業省からも同期間中は「クールビズ」を導入することのことで、同省への訪問も「クールビズ」でよいとのことです。

~~~~~  
今後の主要行事予定  
~~~~~

＊平成 28 年

☆5 月 19 日（木）平成 28 年度（第 17 回）定時総会及び 60 周年記念式典

（場所）品川プリンスホテル
メインタワー

☆5 月 19 日（木）総会後及び 60 周年記念懇親会

（場所）品川プリンスホテル
アネックスタワー 5F
プリンスホール

☆5 月 20 日（金）第 55 回 JFPA 懇親ゴルフ会

（場所）程土ヶ谷カントリー倶楽部
9:12 スタート OUT・IN 各 3 組

☆6 月 22 日（水）技術・標準化合同委員会

（場所）機振会館

☆7 月 6 日（水）第 2 回中小企業委員会

（場所）ダイキン工業（株）
淀川製作所

＊平成 29 年

☆1 月 12 日（木）年始会及び第 79 回理事会

（場所）プリンスタワー（芝公園）

~~~~~  
4 月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。（敬称略）  
~~~~~

（標準化事業／ISO 対策事業）

空気圧調質機器分科会

開催日 4 月 27 日（水）

出席者

主 査 小田敏裕（甲南電機）

委員 三村 岳 (SMC)
〃 土岐真人 (コガネイ)
〃 國崎雄嗣 (CKD)
〃 高橋隆道 (甲南電機)

(標準化事業/規格事業)

流量測定分科会

開催日 4月7日 (木)

出席者

主査 妹尾 満 (SMC)
委員 高橋浩爾 (上智大学)
〃 香川利春 (東京工業大学)
〃 眞田一志 (横浜国立大学)
〃 長井敏和 (CKD)
〃 佐々木政彰 (アズビル TACO)
〃 進藤克己 (クロダニューマティクス)
〃 張 護平 (SMC)
〃 齊藤 悠 (コガネイ)

空気圧継手・チューブ分科会

開催日 4月12日 (火)

出席者

主査 嵯峨秀一 (ニッタ)
委員 條 茂幸 (SMC)
〃 大場良太郎 (コガネイ)
〃 井戸田健 (CKD)
〃 八手又秀浩 (日本ピスコ)

騒音測定分科会

開催日 4月13日 (水)

出席者

主査 小嶋英一 (神奈川大学)
委員 一柳隆義 (防衛大学校)
〃 安田義成 (油研工業)
〃 矢加部新司 (KYB)
〃 堺 隆二 (川崎重工業)
〃 中辻 順 (ダイキン工業)
〃 三浦恵史 (豊興工業)
〃 吉成孝正 (東京計器)
〃 辻井喜勝 (タカコ)

制御技術分科会

開催日 4月20日 (水)

出席者

主査 田中 広 (CKD)
委員 金子幸夫 (コガネイ)
〃 高橋隆通 (甲南電機)
〃 楊 春明 (SMC)

油圧バルブ分科会

開催日 4月21日 (木)

出席者

主査 浦井隆宏 (ボッシュ・レックスロス)
委員 原健二郎 (川崎重工業)
〃 高野一治 (油研工業)
〃 中村雅之 (KYB)
〃 野田隆明 (ダイキン工業)
〃 森田浩司 (廣瀬バルブ工業)
〃 安永和敏 (東京計器)
〃 土井康平 (タカコ)
〃 山口正志 (不二越)
〃 中野 潤 (ナブテスコ)
〃 小林 剛 (日立建機)
〃 小林正幸 (ナブテスコ)

空気圧バルブ分科会

開催日 4月28日 (木)

出席者

主査 夏目清辰 (CKD)
委員 河野喜之 (甲南電機)
〃 石毛浩二 (クロダニューマティクス)
〃 中古 弘 (TAIYO)
〃 土澤聡明 (コガネイ)
〃 丸山哲郎 (SMC)

ADS 国際標準化推進小委員会 (第1回)

開催日 4月19日 (火)

出席者

委員長 山口 惇 (横浜国立大学)
幹事 宮川新平 (KYB)
委員 眞田一志 (横浜国立大学)
〃 柳田秀記 (豊橋技術科学大学)
〃 中尾陽一 (神奈川大学)
〃 鈴木健児 (神奈川大学)

オブザーバー 服部嘉博 (経済産業省)

(技術調査事業)

技術委員会空気圧部会第522回特許分科会

開催日 4月22日 (金)

出席者

幹事 栗盛宏樹 (アズビル TACO)
委員 井野雅康 (SMC)
〃 出澤 大 (クロダニューマティクス)
〃 赤松直人 (甲南電機)
〃 佐藤 浩 (コガネイ)
〃 細田一也 (CKD)

(広報・PR 事業)

第4回60周年記念事業実行委員会

及び記念表彰等選考委員会

開催日	4月20日(水)	〃	水 悟史(川崎重工業)
出席者		〃	上善英司(クロダニューマティクス)
委員長	齋藤圭介(KYB)	〃	北村嘉之(KYB)
委員	大場孝一(油研工業)	〃	宮川新平(KYB)
	〃 国保雅文(CKD)	〃	宮田浩明(コガネイ)
	〃 十万幹雄(神威産業)	〃	岡部満康(CKD)

第90回編集委員会

開催日	4月27日(水)	〃	澤田啓支朗(タイヨーインタショナル)
出席者		〃	内山 治(東京計器)
委員長	齋藤圭介(KYB)	〃	杉村登夢(日本アキュムレータ)
副委員長	水野純一(CKD)	〃	田中健太(ボッシュ・レックスロス)
WG主査	宮 能治(KYB)	〃	善如寺誠(ボッシュ・レックスロス)
顧問	北川 能(元東工大)	〃	久保康之(不二越)
	〃 小山 紀(明治大学)		

委員 浦井隆宏(ボッシュ・レックスロス)
 〃 大久保俊克(阪上製作所)
 〃 神戸孝典(甲南電機)
 〃 豊田敏久(川崎重工業)
 〃 仲野崇行(コガネイ)
 〃 永井茂和(SMC)
 〃 諸橋 博(東京計器)
 オブザーバー 前畑一英(KYB)

~~~~~

月間行事概要

~~~~~

<4月>

6日(水)
 ・中小企業(委)

7日(木)
 ・平成27年度事業・経理に関する監査/監事
 ・標準化(委)流量測定分科会

12日(火)
 ・継手・チューブ分科会

13日(水)
 ・標準化(委)騒音測定分科会

15日(金)
 ・第77回理事会
 ・技術(委)ADS国際標準化推進委員会WG

20日(水)
 ・広報・PR(委)60周年記念実行委員会
 及び記念表彰等選考委員会

・標準化(委)制御技術分科会

21日(木)
 ・ISO(委)油圧バルブ分科会

22日(金)
 ・技術(委)空気圧部会第522回特許分科会

26日(火)
 ・振興対策 IFPEX2017 実行委員会準備会

27日(水)
 ・第90回編集委員会
 ・ISO(委)空気調質機器分科会

28日(木)
 ・標準化(委)空気圧バルブ分科会

(中小企業関連事業/その他事業)

第1回中小企業委員会

開催日 4月6日(水)
 出席者
 委員長 十万幹雄(神威産業)
 委員 松田庄三郎(光陽精機)
 〃 澤田敬之(タイヨーインタショナル)
 〃 澤田啓支朗(タイヨーインタショナル)
 〃 森田勇一(大生工業)
 〃 永島実也(日本オイルポンプ)
 〃 野村伯英(南武)
 〃 杉村登夢(日本アキュムレータ)
 〃 廣瀬一輝(廣瀬バルブ工業)
 〃 福田賢二(堀内機械)
 〃 三浦洋和(堀内機械)
 〃 松井源太郎(マツイ)
 〃 服部嘉博(経済産業省)

(振興対策)

IFPEX2017 実行委員会準備会

開催日 4月26日(火)
 出席者
 委員長 矢島俊也(油研工業)
 委員 谷尾和彦(SMC)
 〃 中川修一(SMC)
 〃 湯浅貴之(神威産業)

☆経済産業省ホームページ

経済産業省の HP では①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁 HP でも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>
